

太平洋諸島フォーラム（PIF）事務局および PIF の専門家が 福島第一原子力発電所を視察

2023年2月10日、太平洋諸島フォーラム（PIF）事務局および PIF の専門家が、福島第一原子力発電所の現状を把握するため来所されました。

福島第一原子力発電所では、ALPS 処理水の希釈放出前に放射性物質濃度を測定・確認する K4 エリアタンクや、ALPS 処理水を海側の希釈設備まで移送する設備を間近でご覧いただくと共に、ALPS 処理水の入ったサンプルボトルを実際に手に取ってご確認いただきました。

視察後には、「ALPS 処理水の放出前に分析する放射性核種の選定について、PIF 島嶼国の関係者に理解をしてもらうためにも有効なデータであり、デジタルデータでの公開・周知をお願いしたい」とのコメントをいただき、当社担当者から、「同情報はすでに公開しており、引き続き、情報発信に努める」旨を回答しました。^{※1}

当社は、今後も、ALPS 処理水の海洋放出に関わる取組について、科学的根拠に基づく情報を、国内外へ透明性高く発信し、長期にわたる廃炉作業を安全かつ着実に進めてまいります。

※1 第1回 特定原子力施設の実施計画の審査等に係る技術会合：資料 1-2

<https://www.tepco.co.jp/decommission/information/committee/executionplan/2022-j.html>



ALPS 処理水対策責任者からの説明



K4 タンク群（測定・確認用設備）を視察



ALPS を視察



ALPS 処理水の移送設備を視察